

事務事業名		深野簡易水道整備事業		所属部	水道局	所属課	工務課
総合計画体系的	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	工務G	課長名	飯島 昭
	施策名	(15)上水道の整備		担当者名	小田川謙一	電話番号	0854-40-0163
	目的:対象	市民	意図	安全・安心で安定した水道の供給を受ける。		(内線)	4632
	基本事業名	(041)水道施設の整備		予算科目	会計 2 0 0 5 0 6	大事業名	吉田町建設改良事業
目的:対象	給水区域外の市民	意図	水道が供給できるように整備する。		中事業名	深野簡易水道施設整備事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 28 年度 ~ 29 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
浄水場施設の改良及び老朽管の布設替えを行う。 取水施設:スクリーン設置 導水施設:導水管φ 100mm 浄水施設:ろ過地更新、場内配管 消毒施設:次亜注入装置、残留塩素計、濁度計 電気計装設備:1式 配水管:φ 40mm~φ 100mm L=5,617m 給水管:78箇所 消火栓:15箇所

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	28年度実績(28年度に行った主な活動)		29年度計画(29年度に計画する主な活動)		
		配水管:φ 40mm~φ 100mm L=4,768m 給水管:74箇所 消火栓:14箇所		配水管:φ 40mm~φ 75mm L=849m 給水管:4箇所 消火栓:1箇所 取水施設:スクリーン設置 導水施設:導水管φ 100mm 浄水施設:ろ過地更新、場内配管 消毒施設:次亜注入装置、残留塩素計、濁度計		
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	ア 布設替え延長	m		0	4,768	849
	イ 老朽管延長	m		5,617	849	0
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	深野簡易水道施設 給水区域住民	ア 布設替え延長	m		0	4,768	849
		イ 老朽管延長	m		5,617	849	0
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
浄水場施設の改良及び老朽管の布設替えにより安全・安心で安定した水道水の供給を行うとともに、有収率を向上し、経営の安定化に寄与する。	ア 布設替え延長	m		0	4,768	849	
	イ 有収率	%		67.7	70.3	89.6	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
工事請負費111,288千円 深野地区配水管改良工事(その1) 深野地区配水管改良工事(その2) 深野地区配水管改良工事(その3) 深野浄水場詳細設計業務 事務費211千円	財源内訳	千円			23,977	6,000
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円			81,500	50,100
	その他	千円			6,022	
	一般財源	千円				
	事業費計 (A)	千円			111,499	56,100
	人件費	人			1	
	正規職員従事人数	人				
	延べ業務時間	時間			104	
	人件費計 (B)	千円			413	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			111,912	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
他の施設が老朽化する。 給水人口及び世帯数が減少する。	経済比較をし、経済的な材料・手法で設計・施工するよう努めている。	効率的な事業運営が求められている。

事務事業名	深野簡易水道整備事業	所属部	水道局	所属課	工務課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																								
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？																									
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？																									
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																								
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																									
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	浄水場施設の改良及び老朽管の更新方法はこの手段以外にない。																							
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない																									
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	浄水場施設の故障、老朽管により漏水事故等の危険性が増大し、安心・安全で安定した供給に影響が出る。																						
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																									
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	連携できる類似事業がない。																								
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																							
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		新技術の導入、建設コストの削減など設計内容の精査を実施しており、これ以上の削減余地はない。																						
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																									
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		最小限の人数で対応しているため、削減の余地はない。																						
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																									
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		水道使用料で負担しているので、公平である。																						
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である																									
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																							
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)			② 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		●	×																						
	低下		×	×																						
第2次雲南市水道事業総合整備計画と連携し、今後も引き続き、計画的に老朽した施設及び老朽管の更新に努める。			廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																							

3 今後の方向性【PLAN】